

## 衛生法規に関する知識

問題1 次のクリーニング業法の目的に関する組合せのうち、**正しいもの**はどれか。

「この法律は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び(①)を行い、もってその経営を(②)に適合させるとともに、(③)を図ることを目的とする。

- (1) ①取締り ②公共の福祉 ③利用者の利益の擁護
- (2) ①啓発 ②全体の利益 ③国民の衛生水準の確保
- (3) ①取締り ②消費者の利益 ③国民の衛生水準の確保

問題2 次の組合せのうち、クリーニング業に含まれる行為として、**正しいもの**はどれか。

- A 寝具やおしぼりを使用するために貸与し、使用済み後に回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返し行うこと
- B 洗たく機や乾燥機を設置して、洗たくのためにこれを利用者に使用させること
- C 洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡しをすること

- (1) A－含まれない B－含まれる C－含まれない
- (2) A－含まれる B－含まれない C－含まれない
- (3) A－含まれない B－含まれない C－含まれる

問題3 次の営業者の衛生措置等に関する記述のうち、**誤っているもの**はどれか。

- (1) 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、脱水機の効用をも有する洗たく機を備える場合は、脱水機は、備えなくてもよい。
- (2) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗たく物を取り扱う場合においては、洗たくが消毒の効果を有する方法によってなされる場合であっても、これを洗たくするときは、その前に消毒しなくてはならない。
- (3) 「手ぬぐい、タオルその他これらに類するもの」については、営業者に引き渡される前に消毒をされていない場合は、原則として洗たくをする前に消毒をしなくてはならない。

問題4 次の利用者に対する説明義務のうち、**正しいもの**はどれか。

- (1) 営業者は、洗たく物の受取及び引渡しをするに際しては、苦情の申出先を明示するよう努めなければならない。
- (2) 営業者は、洗たく物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、洗たく物の処理方法等について記載した書面を配布しなければならない。
- (3) 無店舗取次店においては、苦情の申出先となるクリーニング所又は無店舗取次店の名称、クリーニング所の所在地又は車両の保管場所並びに電話番号を記載した書面を配布しなければならない。

問題5 次のクリーニング所開設の手続きに関する記述のうち、**誤っているもの**はどれか。

- (1) クリーニング所を開設しようとする者は、厚生労働省令に定めるところによりあらかじめ都道府県知事に届出をする必要があるが、許可を得る必要はない。
- (2) 営業者はクリーニング所の経営計画について都道府県知事の検査を受け、法の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。
- (3) 営業者はクリーニング所ごとに1人以上のクリーニング師を置かなければならないが、必ずしも当該クリーニング師の免許は当該クリーニング所の所在地を管轄する都道府県知事が交付したものでなくてもよい。

問題6 次のクリーニング所に関する記述のうち、**正しいもの**はどれか。

- (1) クリーニング師でなければ、クリーニング所を開設することができない。
- (2) 従事者の数に変更が生じた場合は、営業者は速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
- (3) 洗たくを行わず、仕上げや乾燥のみを行う施設はクリーニング所には含まれない。

問題7 次のクリーニング師の免許証に関する記述のうち、**正しいもの**はどれか。

- (1) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、1月以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- (2) クリーニング師が死亡し、又は失そうの宣告を受けたときは、戸籍法に規定する届出義務者は、10日以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- (3) クリーニング師は免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、5日以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。

問題8 次のクリーニング師に関する記述のうち、**正しいもの**はどれか。

- (1) クリーニング師の免許証の交付を受けた者は、交付を受けた後1年以内にクリーニング業法第8条の2の規定による研修を受けるものとする。
- (2) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、クリーニング業法施行規則第10条の2第1項の規定による研修を受けた後は、3年を超えない期間ごとに研修を受けるように努めなければならない。
- (3) 営業者は、厚生労働省令で定めるところにより、その業務に従事する者に対し、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従い指定した当該業務に関する知識の修得及び技能の向上を図るための講習を受けさせなければならない。

問題9 次の都道府県知事の権限に関する記述のうち、**正しいもの**はどれか。

- (1) 営業者又はその使用人で、洗たく物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかっていることのみをもって、期間を定めてその業務を停止することができる。
- (2) 他の都道府県知事の免許を受けたクリーニング師について、免許の取消しを適当と認めるときは、その免許を自らの権限で取り消すことができる。
- (3) クリーニング師が犯罪を犯して罰金以上の刑に処せられたときは、その犯罪がクリーニング業に関するものでなければ、その免許を取り消すことができない。

問題 10 次の「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に関する記述のうち、**正しいもの**はどれか。

- (1) この法律は、公衆衛生の向上及び増進に資することのみならず、国民生活の安定に寄与することも目的としている。
- (2) 営業者は、自主的に、衛生措置の基準を遵守し、及び衛生施設の改善向上を図るため、事業協同組合を組織することができる。
- (3) 都道府県知事は、利用者又は消費者の選択の利便を図るため、厚生労働大臣の認可を受けて、当該業種に係る営業方法又は取引条件に関する事項を内容とする標準営業約款を定めることができる。

## 公衆衛生に関する知識

問題1 次の公衆衛生の定義等に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 日本国憲法では、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利と公衆衛生の向上、増進への努力を規定している。
- (2) WHO（世界保健機関）は、「病気でないこと」のみを健康と定義している。
- (3) ウィンスローの定義によると、公衆衛生は「社会を構成する個人の努力」を通じて行われる。

問題2 次の予防衛生に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 人口1,000人に対して1年間に何人死亡したかを示す値を年齢調整死亡率という。
- (2) 生活習慣病への対策は、二次予防対策（早期発見、早期治療）に加えて、一次予防対策（健康増進と発病予防）をより一層推進していくことが重要である。
- (3) 生活習慣が深く関与している主な疾病には、がん、脳卒中及び結核がある。

問題3 次のクリーニング業における水質汚濁防止法に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 洗い場を設けるクリーニング所は、「洗たく業の用に供する洗淨施設」として、政令で定める特定施設になっている。
- (2) 政令で定める特定施設を設置する工場又は事業場から公共水域に排出される水は、水質汚濁防止法による排水規制の対象とされている。
- (3) テトラクロロエチレンの公共用水域への一律排水基準（全国一律の基準）は3mg/L以下と規定されている。

問題4 次の環境生理に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 一酸化炭素がヘモグロビンと結合する力は、酸素とほぼ同じである。
- (2) 二酸化炭素は、通常空気中に0.03～0.05%存在する。
- (3) 酸素は、血液の赤血球のヘモグロビンと結合して血液とともに体内を循環する。

問題5 次の感染による皮膚疾患とその原因に関する組合せのうち、誤っているものはどれか。

- (1) みずいぼ (伝染性軟属腫) — 糸状菌
- (2) トビヒ (伝染性膿痂疹) — 細菌
- (3) 疥癬 — 寄生虫

問題6 厚生労働省が定める「クリーニング所における衛生管理要領」に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 洗剤、有機溶剤、しみ抜き薬剤及び消毒剤等は、それぞれ分類して表示し、所定の保管庫又は戸棚等に保管すること。
- (2) ジフテリア若しくはペストに感染した従事者が業務に従事する場合は、保健所に届け出てから当該従事者を作業に従事させること。
- (3) 照明器具は、少なくとも2年に1回以上清掃するとともに、常に適正な照度維持に努めること。

問題7 厚生労働省が定める「クリーニング所における衛生管理要領」による指定洗たく物の一般的な消毒方法に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 蒸気による消毒は、蒸気がま等を使用し、100℃以上の湿熱に10分以上触れさせること。
- (2) 熱湯による消毒は、60℃以上の熱湯に5分以上浸すこと。
- (3) 塩素剤による消毒は、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素250ppm以上の水溶液中に30℃以上で5分以上浸すこと。

問題8 地域保健法第6条に規定する保健所が行う事業として、誤っているものはどれか。

- (1) 公共医療事業の向上及び増進に関する事項
- (2) 労働時間、賃金、解雇等の労働条件に関する事項
- (3) 母性、乳幼児、老人の保健に関する業務

問題9 次の感染症に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 感染症が発生するためには、感染源及び感染経路の2大要因の存在のみが必要である。
- (2) 感染症の感染経路には、接触感染や飛沫感染などの直接伝播と衣類等を介する媒介物感染や空気感染などの間接伝播がある。
- (3) 病原微生物を殺すかまたは除去して、感染力をなくすことを滅菌という。

問題10 次の産業廃棄物に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) クリーニング業により排出された石油系溶剤を含む廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で規定する特別管理産業廃棄物に該当しない。
- (2) 事業者は自ら排出した産業廃棄物を法が許可する業者に委託して処理することができるので、委託処理する場合には、自らの廃棄物が最終処分されるまでの責任を持つ必要はない。
- (3) 産業廃棄物の処理を収集運搬業者に委託する場合、引渡しの際にマニフェスト（産業廃棄物管理票）を交付することが義務付けられている。

## 洗たく物の処理に関する知識

問題1 次の繊維素材に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 絹は、発色が鮮やかで、しなやかさと吸湿性に優れるが、着用中の汗や摩擦によって、毛羽立ちや変退色、スレなどが発生しやすい。
- (2) レーヨン（レーヨン）は、原料の木材パルプから絹の外観に似せて人工的につくった再生繊維で、吸湿性は綿より大きい、強度は綿、絹より弱い。
- (3) 麻は、綿よりも染料の吸収が良いため濃色に染まりやすく、脱色しにくい傾向がある。

問題2 次の汚れやシミに関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 油性のシミは、霧吹きで霧をかけると、生地よりもシミのほうが水分を早く吸収する。
- (2) 酵素によるシミ抜きは、繊維や染色を傷めることは少ないが、酵素には種類が多く、シミに合わないとき効果が少ない。
- (3) たんぱく質、糖類、でんぷんの汚れは、その溶解性から油性の汚れに分類される。

問題3 次のランドリーに関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 予洗は、アルカリ剤を用い、水量は本洗いよりも少なめで、温度は70℃以上にする。
- (2) すすぎ温度は、初回は洗濯温度より10℃以上下げ、2回目以降はその温度を維持する。
- (3) 糊付けは布に光沢やハリを与えるもので、糊剤にはコーンスターチ、CMC、PVA、酢酸ビニルなどがある。

問題4 次の過炭酸ナトリウムに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 標準使用量は、1Lあたり0.5～1gで、時間は長いほど漂白効果が出る。
- (2) 低温で漂白効果がある反面、高温では急激な分解が起こり、生地を損傷する。
- (3) 酸素系漂白剤であり、ほとんどの染色物に適用できるが、生地を損傷するため、含金染料染色物には使用不可である。

問題5 次の洗剤とその主成分である界面活性剤に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 界面活性剤は、アニオン系、カチオン系、ノニオン系、両性イオンの4つのタイプに分けられる。
- (2) 洗浄作用は、洗剤の浸透・吸着・膨潤・乳化・懸濁などの諸性能が総合されたものである。
- (3) アニオン系とカチオン系の併用は差し支えないが、アニオン系とノニオン系を併用すると、本来の効能が相殺されることがある。

問題6 次のドライクリーニング溶剤に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) テトラクロロエチレンは、引火性を有するため取扱いに注意が必要である。
- (2) 石油系溶剤は、油脂溶解力が大きく、揮発しやすいので、短時間で洗浄、乾燥ができ生産性が高い。
- (3) 溶剤の比重が小さいほど、たたき洗い効果が小さく、衣料を傷めない。

問題7 次の毛皮のクリーニングに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 毛皮のクリーニングには、ドライクリーニングが適している。
- (2) 熱に弱いので、仕上げは裏地にのみアイロンをかけ、表はブラッシング等で毛並みを整える。
- (3) 毛皮の保管は、温度10～15℃、湿度45～50%が最適である。

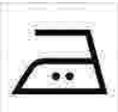
問題8 次の繊維加工に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) フロック加工とは、布面を針布やあざみなどで引っかいて毛羽立たせる加工である。
- (2) エンボス加工とは、織物を凹凸のついた過熱ローラーと、紙や綿のローラーの間に通して、凹凸のある模様を付ける加工である。
- (3) モアレ加工とは、絹、レーヨン、アセテートなどのフィラメント織物に、木目や波形、あるいは雲状の模様を付ける加工である。

問題9 次の洗たく物の受取及び引渡しに関する記述のうち、**誤っているもの**はどれか。

- (1) シミや汚れの箇所、破損や変退色の有無、付属品の数量や状態などについて、受取時に利用者と一緒に確認することが、クレーム防止のために非常に重要である。
- (2) 受取の際に、利用者と洗たく物の確認をしていれば、クリーニング後の引渡し時に改めて洗たく物の確認をする必要はない。
- (3) クリーニング後、利用者に引き渡すまで、蛍光灯や日光の紫外線による変退色や、虫害、カビなどを防止するよう品質保持に努める。

問題10 「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法（JIS L0001）」の表示記号とその意味に関する次の組合せのうち、**正しいもの**はどれか。

	表示記号	表示記号の意味
(1)		塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。
(2)		底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
(3)		ドライクリーニング処理ができない。